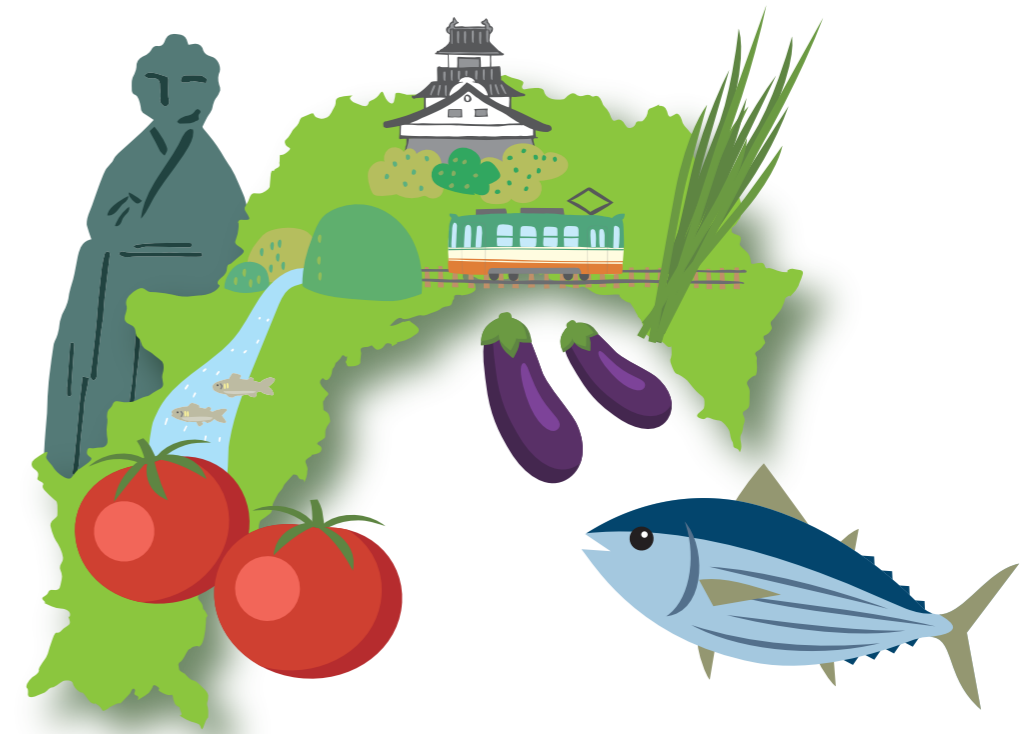


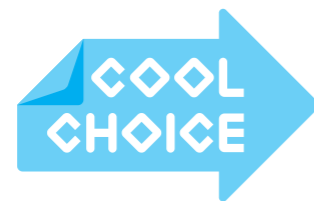
地域を豊かにする 地球温暖化防止

温暖化対策 × 地域の課題解決

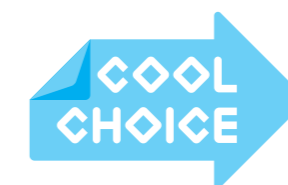


「温暖化対策は生活の質を高める？」

YES or NO



未来の
ために、
いま選ぼう。



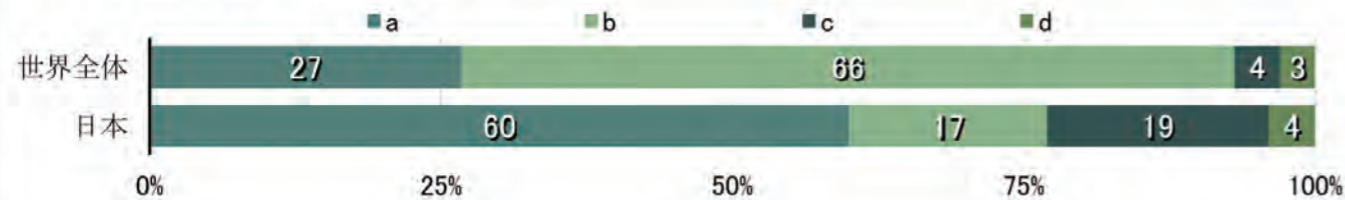
未来の
ために、
いま選ぼう。

「温暖化対策は生活の質を高める？」

YES 世界平均：66% 日本：17%

【設問 1-2】あなたにとって、気候変動対策は、どのようなものですか？

- a 多くの場合、生活の質を脅かすものである
- b 多くの場合、生活の質を高めるものである
- c 生活の質に影響を与えないものである
- d わからない／答えたくない



[グラフ：科学技術振興機構, 2015, 『世界市民会議「気候変動とエネルギー」開催報告書』より]

日本では多くの人たちが気候変動（※1）対策により「生活の質が脅かされる」と認識していますが、世界では逆に「生活の質を高めるものである」と捉えています。

これは日本国内では温暖化対策が「省エネ」というイメージが強いのに対して、海外では温暖化対策が省エネだけでなく、環境にやさしい新たな社会の構築に向けた仕組みや技術の導入につながり、地域の課題解決や、より快適で安心・安全な暮らしに結びつくと考えられているからです。

そこで、地域における温暖化対策の推進を他の社会課題の取組と合わせて進め、地域の課題に取組む各主体を巻き込みながら、それぞれの課題との関係の深化と課題解決につなげていくことが必要です。この考え方を「コベネフィット」といい、環境省が地方公共団体向けの支援ツールとして発行する『地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル』にも掲載されています。

（※1）日本では気候変動（Climate Change）と地球温暖化は、ほぼ同じ意味で使われています。

■ 実行計画区域施策編とコベネフィット

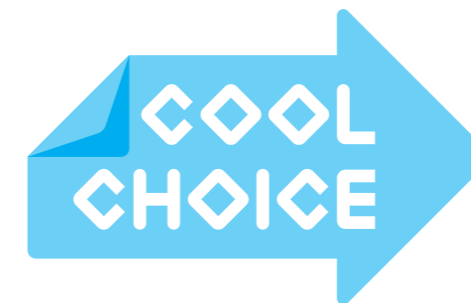
○ これからの地方における地球温暖化対策の在り方

<コベネフィットの追求>

- ・ 地域における地球温暖化対策は、温室効果ガス排出の抑制を実現するだけではありません。地域活性化、人口減少、産業振興、防災、健康等の多様な課題の解決に貢献し、住民・事業者の利益となる可能性を秘めています。
- ・ 地球温暖化対策は、社会経済情勢や技術動向も踏まえて区域の目指す将来像の中に位置づけ、コベネフィット、すなわち、温室効果ガスの排出抑制等と併せて地域が追求できる経済・社会的な便益の観点を含めて検討すべきであると考えられます。
- ・ また、関連する他分野の施策も、地球温暖化対策の観点から再検討し、効果的な連携を図るべきであると考えられます。

[地球温暖化対策実行計画区域施策編策定マニュアルより]

環境省 地方公共団体実行計画策定・実施支援サイト http://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/index.html



未来のために、いま選ぼう。

このパンフレットに関するお問い合わせ先

高知県地球温暖化防止活動推進センター

（運営：特定非営利活動法人環境の杜こうち）
 〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目 115 番地
 こうち男女共同参画センター「ソーレ」3階
 TEL：088-822-5554
 FAX：088-802-2205
 E-MAIL:kccca@npo-kankyonomori.com
 URL：<http://npo-kankyonomori.com/ondanka/>

特定非営利活動法人 環境の杜こうちとは

環境活動・環境学習の支援活動、地球温暖化防止活動の支援、環境に関する情報の発信、環境政策の研究・提案などを行うことにより、循環型社会の形成に寄与することを目的に活動しています。

高知県地球温暖化防止活動推進センターについて



Kochi Center for Climate Change Actions 高知県地球温暖化防止活動推進センター

地球温暖化防止活動推進センターは「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、各都道府県知事の指定により設置されており、地球温暖化防止に関する「啓発・広報活動」「活動支援」「照会・相談活動」「調査・研究活動」「情報提供活動」などを行っています。

「高知県地球温暖化防止活動推進センター」は、平成18年4月より特定非営利活動法人環境の杜こうちが高知県知事の指定を受け、運営を行っています。

高知県地球温暖化防止活動推進員(※2)について

「高知県地球温暖化防止活動推進員」は県民の皆さんに地球温暖化の現状やその対策に関する正しい知識を広めるとともに、身近なところから省エネ・温暖化防止活動に取り組めるようにアドバイスや活動のお手伝いをボランティアとして行う方々です。

高知県では、2018年10月現在、47名の地球温暖化防止活動推進員が知事からの委嘱を受けて、自らが低炭素に資する暮らし方を実践するとともに、出前授業やセミナー等で講義を行ったり、産業祭などの地域イベントへ環境ブース出展するなど幅広く活動しています。



温暖化対策と地域課題を合わせたテーマ例

健康と地球温暖化防止

地域の課題(例1)

- ・熱中症やヒートショック発症の増加
- ・健康管理と省エネ(電気使用量の削減)の両立

●ヒートショックに関連した入浴中急死者数(2011年)



地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター「冬場の住居内の温度管理と健康について」より作図

- ・最新のデータでは平成29年中の交通事故による死亡者数は3,694人(※)で、入浴中にヒートショックで亡くなる方は交通事故による死亡者数の約4.6倍に。

(※)警察庁交通局「平成29年中の交通事故の発生状況」より

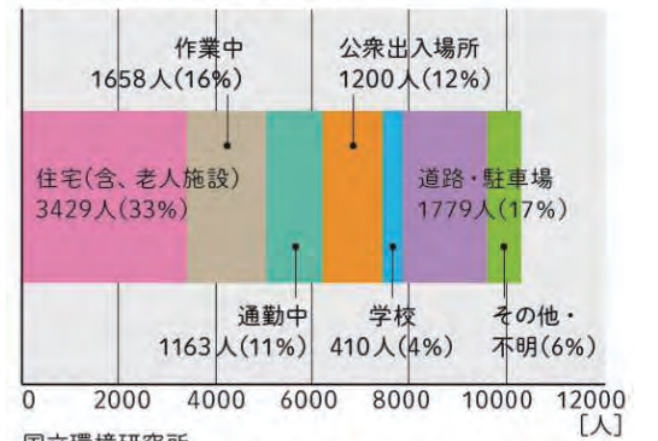
具体的な取組(例)

- ・熱中症対策、ヒートショック予防と暮らしに合った省エネ手法の提案。(健康に配慮した効果的な家電製品の使い方など)
- ・各家庭での省エネチェックを実施することで、お年寄りの見守りにもつなげる。

地域のニーズ

- ・暮らしに合った省エネ手法
- ・一人暮らしのお年寄りの見守り

●全国の熱中症発生状況(2014年度)



国立環境研究所「熱中症患者情報速報平成26年度報告書」より作図

熱中症発症は屋外より屋内の方が多く(33%)お年寄りの発症率が高い。

地域の課題(例2)

- ・生活習慣病の予防
- ・公共交通インフラの整備



<「SDGs」持続可能な開発目標にも関連付けて実施>

長野県での取組事例(ノーマイカー通勤ウィークの実施)

長野県では、脳卒中等の生活習慣病予防に効果のあるAction(体を動かす)・Check(健診を受ける)・Eat(健康に食べる)に取り組む健康づくり県民運動「信州ACE(エース)プロジェクト」を進めています。駅やバス停まで歩いたり、徒歩・自転車通勤など意識して習慣的に体を動かすことで、生活習慣病を予防し、生活機能の維持や認知症の予防、ストレスの軽減などに効果があると言われています。

[長野県地球温暖化防止活動推進センター HP より]

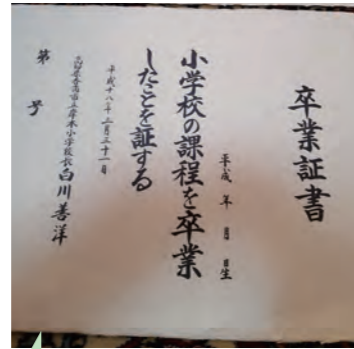
■教育・地域の産業と地球温暖化防止

地域の課題

- ・子どもの木工離れ
- ・森林資源の活用不足

地域のニーズ

- ・森林環境を学ぶための「ものづくり」の場づくり
- ・体験型で楽しく学べる環境学習



子どもたちがケナフを育てて自分で漉いた卒業証書

一貫張り作業の様子

地域の推進員(※2)の取組事例 (小学校と連携した紙漉き体験・一貫張り教室など)

- ・小学校の授業の一環としてケナフを育て、自分で漉いた和紙で思い出に残る卒業証書を作る。
- ・紙漉きや一貫張りの体験を通じて、暮らしの中で活用する楽しみを知り和紙や木に親しみをもち、地球温暖化について考える。

(※2) 推進員については5ページの「高知県地球温暖化防止活動推進員について」をご参照ください。

■防災と地球温暖化防止

地域の課題

- ・防災(家づくり・避難経路・避難場所など)
- ・被災時の生活

地域のニーズ

- ・いざという時の備えについて(避難訓練や防災セミナーの実施など)
- ・安全な家づくり(新築・増改築・耐震工事)

具体的な取組(例2)

- 自治会等の防災訓練・セミナーに合わせた提案
- ・異常気象と地球温暖化についての講話
- ・エコレシピの紹介/雨水利用の勧め
- ・災害時に役立つダンボールの利用法など



[セミナー開催のイメージ]

具体的な取組(例1)

- 家づくりの提案
- ・あたり前に安全な家(耐震補助制度などと合わせた提案)
- ・地元の材料を使う(建材の地産地消率を上げて持続可能に)
- ・蓄電・再エネの利用(災害時にも役立つ自然エネルギーの活用)

[図: 高知県土木部住宅課 HP より]

■ごみ問題と地球温暖化防止

地域の課題

- ・地域コミュニティの活性化
- ・子どもたちが安心して暮らせるまちづくり
- ・地区の美化、ゴミの分別の徹底など

地域のニーズ

- ・一斉清掃など地区行事への若者の参加
- ・子どもたちの環境学習の場づくり
- ・お年寄りから子どもまで三世代の交流



地元の小学生が描いた高知「環境絵日記」の展示と手回し発電釣りゲームの実施



餅つきを通じた三世代交流の様子

地域の推進員の取組事例 (地区の一斉清掃に合わせた交流と環境学習)

- ・地区の一斉清掃を三世代交流の機会と捉え清掃活動後、公民館で餅つきや環境学習を実施。清掃活動を通じての環境意識の向上と同時に地域コミュニティの活性化につなげる。

温暖化対策 × 地域の課題解決

産業革命以降の社会の発展は主に便利さを求める「生活の向上」を目的に、石油や石炭などをエネルギー源として使うようになり CO2 を排出し続けてきました。その結果として地球温暖化に繋がる CO2 などの温室効果ガス(※3)を削減する温暖化対策が世界規模の課題となり、日本では省エネが盛んに呼び掛けられましたが、これに資する暮らしは「不便やガマンを強いるもの」といった否定的なイメージが定着してしまいました。

しかし本来、温暖化対策の多くは単にエネルギーの消費を抑制し、暮らしを窮屈にするものではなく、石油や石炭など CO2 を排出するエネルギー源への過度な依存から、地域に眠っているあらゆる資源を活かした持続可能な循環型社会へ切り替えることではないでしょうか。地域の課題解決や、より快適で安心・安全な暮らしにつながる温暖化対策に取組んでみませんか。

(※3) 温室効果ガスの種類: 主な温室効果ガスには CO2 の他に、メタン、一酸化二窒素、フロンガスがあり、そのうち 76%を CO2 が占めています。

■高知県地球温暖化防止活動推進センターへご相談ください

■国の補助事業の活用

地方自治体を対象とした環境省の補助事業「地方公共団体と連携した CO2 排出削減促進事業」の活用法などご相談ください。

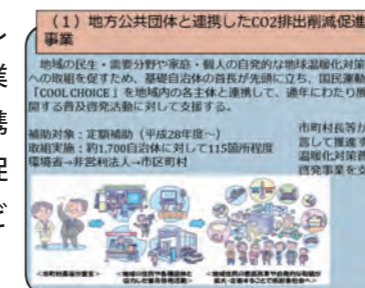


図: 環境省地球環境局 資料より抜粋

■センター、推進員との協働・連携

- 地域コミュニティを活用したセミナーなどの実施
- ・集落活動センター、公民館などでのセミナー開催
- 産業祭などのイベントへの環境ブース出展支援
- ・当日業務、パネル・資料等の貸出、テーマ設定の相談など